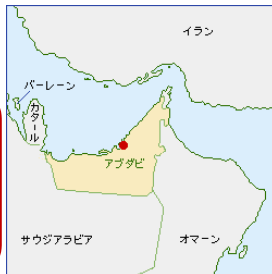




アラブ首長国連邦(UAE) (United Arab Emirates)



- 日本は、エネルギー分野を軸に、長年UAEと友好関係を築いている。近年、ビジネス・投資、人的交流といった幅広い分野に、互恵的な協力関係が拡大している。
- UAEの所得水準は高いが、脱石油依存と産業の多角化は重要課題である。
- 日本は、官民協力してUAEの人材育成に貢献。

国概要

(基礎データ)

- 面積: 83,600平方キロメートル(日本の約4分の1)
- 人口: 958万人(2015年, IMF推計)
- 首都: アブダビ
- 民族: アラブ人
- 言語: アラビア語(公用語)
- 宗教: イスラム教
- 政体: 7首長国による連邦制
- 議会: 連邦国民評議会(議員40名で構成)
- GDP: 約3,450億ドル(2015年推定値, IMF)
- 一人あたりGDP: 約36,000ドル(2015年推定値, IMF)
- GDP成長率(実質): 3%(2015年推定値, IMF)
- 失業率: 3.8%(2013年推定値, ILO)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

18世紀	アラビア半島南部の部族が移住
1892年	英国の保護領となる
1971年	アブダビやドバイなど6首長国が、アラブ首長国連邦を結成
1972年	ラース・ル・ハイマ首長国が参加し、現在の7首長国による連邦制国家となる
1973年	第四次中東戦争、石油危機
1981年	他の湾岸王政国家5か国と湾岸協力理事会(GCC)を結成

援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
無償資金協力	5.0億円 (1990年度に一件)
技術協力	37.27億円 (2002年度末時点)

※UAEは、1995年にDACの援助対象国リストから外れ、これに伴い日本は1998年度末をもって同国へのODAを終了した。

出典: ODA国別データブック2015

青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)

(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からUAEへの輸出	約1兆521億円 (2015年, 財務省貿易統計)
UAEから日本への輸出	約2兆8,462億円 (2015年, 財務省貿易統計)
日本からUAEへの直接投資	5億9,600万ドル (2006～2015年の累計, 外務省統計)
在UAE日系企業数	305社 (2015年10月1日現在, 外務省統計)

UAEへの主要ODA供与国・機関

(1995年～1997年累積, 出典: OECD/DAC)

	主要ODA供与国 (1995～1997年) (百万ドル)	主要国連機関 (1995～1997年) (百万ドル)
1	日本(5.9)	UNDP(8.2)
2	ドイツ(2.9)	UNTA(0.9)
3	フランス(1.7)	CEC(0.1)
4	英国(0.4)	

人的つながり

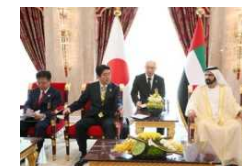
項目	人数(直近年)
UAEにおける在留邦人数	3,708人 (2015年10月時点, 外務省統計)
在日UAE人数	98人 (2015年末, 法務省統計)
UAEから日本への留学生数	64名 (2015年5月時点, (独)JASSO調査)

日本とアラブ首長国連邦との協力年表

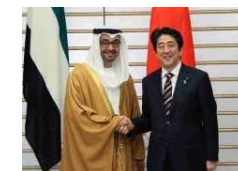
年代	案件
1971年12月	UAEの独立を承認
1973年	ムバラス鉱区から最初の原油が日本に出荷
1973年12月	駐日大使館設置
1974年4月	在UAE日本大使館設置
1977年	液化天然ガス(LNG)日本向け出荷開始
1990年5月	ザーイド大統領(当時)が国賓として来日
1995年1月	ドバイに総領事館を開設
2007年4月	安倍総理がUAEを公式訪問し、ハリーファ大統領と会談
2007年12月	ムハンマド・アブダビ皇太子が公式実務訪問賓客として来日
2013年5月	安倍総理がUAEを訪問 ムハンマド・アブダビ皇太子との会談、ムハンマドUAE副大統領兼首相との会談後、「日本とアラブ首長国連邦との間の安定と繁栄に向けた包括的パートナーシップの強化に関する共同声明」等を発出
2014年2月	ムハンマド・アブダビ皇太子が公賓として来日



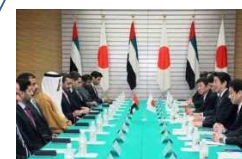
安倍総理とハリーファ大統領の会談



安倍総理のUAE訪問に際し、日UAE原子力協定が署名(2014年7月発効)



原油の共同備蓄の容量拡大を決定、原子力の平和的利用に関する覚書署名等、様々な分野で協力拡大



日・アラブ首長国連邦首脳会談